

平成 2 7 年

第 4 回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

平成27年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項について報告します。

はじめに、仙北市病院事業管理者の急逝についてです。

仙北市病院事業管理者の宮川信先生（享年78歳）が、8月21日3時58分、急性冠不全のため長野県飯田市内の救急搬送先病院でお亡くなりになりました。あまりに突然の訃報でした。驚きと悲しみの中で、8月22日にご自宅を弔問し、8月30日には青柳議長や仙北市病院事業関係者と共に、葬儀に参列をさせていただきました。

宮川先生は、平成23年4月1日から病院事業管理者としてご奉職され、今年4月に2期目が始まったばかりでした。その間、医師・看護師確保対策、病診連携、市立角館総合病院の移転改築、地方創生特区の温泉医療メニューの造成などで、大変なご尽力をいただきました。心からご冥福をお祈りします。

次に、地方創生特区についてです。

7月19日、内閣府から平副大臣、小泉政務官らが出席してのドローン飛行実証実験（たざわ湖スキー場）が行われ、また午後には地方創生シンポジウム（角館交流センター）も開催しました。議会や市民の皆様など、多くのご参加をいただき、誠にありがとうございました。

この後、8月25日の閣議決定、28日閣議後の政府発表により、政令指定の手続きは終え、国家戦略特区法の運用は9月1日からスタートしました。現在は特区法を活用した事業者の公募が行われていて、9月3日までの公募期間と聞いています。この公募で区域会議の構成員を決定し、基本的には地方創生担当大臣、自治体首長、そして事業者の代表で構成する第1回区域会議が9月7日（田沢湖庁舎）に開催されることになりました。

議会をはじめ、多くの皆様のご理解とご協力で、特区指定という

市政に特筆すべき局面に立つことができたことに、重ねて御礼を申し上げます。どうか今後もご指導をよろしくお願いします。

次に、秋田県による台湾トップセールスについてです。

佐竹知事に同行し、青柳仙北市議会議長・津谷北秋田市長・福原大館市長・渡部男鹿市長・高橋横手市長・三浦三種町長などと共に、8月19日から21日の3日間台湾を訪問しました。今回も秋田県と仙北市独自のミッションの二本立てでした。県ミッションでは航空3社を訪ね、チャーター便の誘致をお願いし、さらに中華航空には定期便の検討も依頼しました。仙北市の独自ミッションでは、台北温泉発展協会を訪ね、市の地方創生特区指定に伴う温泉医療についての情報収集や、今年2月から運営を開始した北投健康管理医院の視察を行いました。

また、台湾外交部亜東関係協会との懇談では、国立台湾師範大学附属高級中学と角館高校の姉妹校締結式が、いよいよ10月14日に行われる御礼を申し上げ、さらに台湾医療界との橋渡し役をお願いしました。

次に、秋田県総合防災訓練についてです。

8月9日、第53回秋田県総合防災訓練を市内各地区で実施しました。訓練前半は、角館・西木地区を中心とした大規模地震対応、後半は田沢湖地区を中心とした秋田駒ヶ岳の火山噴火に係る避難を想定しての訓練となりました。参加者は約1,800人、仙北市をはじめ防災関係機関や市民の皆様、各地区の自主防災組織、市内小中学生、角館高校の皆様など、多くの方のお力添えをいただき、無事終了することができました。参加した関係機関からも、非常に意義のある訓練だったとの評価をいただいています。

今回の訓練の大きな特徴は三つありました。一つ目は訓練のために会場を設けるのではなく、実際発生が予想される場所で訓練をしたこと、二つ目は努めて多くの市民の参加をいただき訓練を行う市

民参加型を追求したこと、三つ目は市の防災の特徴である火山噴火対応を見据えた訓練を取り入れたことです。

また、大規模な災害に対応する本格的な災害対策本部の設置訓練や、災害の復旧復興期で行う遺体安置所・ボランティアセンターを開設しての訓練なども、特徴としてあげられます。さらに市民の防災意識を高めるため、角館地区で防災フェアも実施しました。

今回得られた成果・反省を各種計画に反映させ、市民生活の安心安全対策を一層充実させたいと思います。

次に、平成26年度の一般会計決算についてです。

歳入総額は192億8,732万8千円、歳出総額は187億9,214万7千円、歳入歳出差引額は4億9,518万1千円の黒字です。翌年度に繰り越すべき財源総額1億2,004万8千円を差し引いた実質収支額は、3億7,513万3千円の黒字です。

次に、一般会計補正予算についてです。

補正額は6億1,258万6千円で、これに既定予算を加えると、補正後の額は191億9,685万円となります。

主な事業は、地域総合整備資金貸付金、老朽化街灯の更新事業、個人番号カード関連事務委任交付金、国民健康保険特別会計事業勘定繰出金、塵芥処理費、企業誘致対策事業費、冬期交通対策費、住宅リフォーム促進事業費補助金、農業用施設災害復旧事業費、公共土木施設災害復旧事業費などです。地方債補正は追加と変更です。

次に、各部局等の主要事項並びに諸般の状況等を報告します。

## 【総務部】

### ◇市制10周年記念事業について

市制10周年記念式典については、10月4日、市民会館において開催することとし、約450人の方々にご案内文書を発送してい

ます。式典では新市発足後の市政発展に特に寄与いただいた方々に対し記念表彰を行うとともに、式典に先だち「愛・クニマス」のコンサートを再上演し、記念事業を盛り上げたいと思います。

県外からの表彰者等に対する旅費等については、9月補正予算でお願いしたいと考え計上しました。よろしくお願い申し上げます。

### ◇総合教育会議の開催について

総合教育会議の2回目の会議を8月24日に開催し、中央公民館の整備、スポーツ振興対策、学校再編について協議しました。

庁舎整備基本構想の中、田沢湖庁舎を総合的なスポーツ振興の拠点、西木庁舎を産業や学習・交流拠点とする総合支所と設定した経緯、その狙いなど共有することができました。今後は構想の実現に向け、教育委員会内部でさらに議論をいただく予定です。

また学校再編については、生徒数等の推移予測が示されました。今後、地域の意向調査等も含め、将来的に子供達にとって最も良い姿や手法について、議論を加速することになりました。

### ◇田沢湖クニマス里帰りプロジェクトについて

7月2日、「鳴砂復活検討協議会」の第1回会議を開催しました。出席者は地元関係者や市・県・東北電力株式会社秋田支店です。オブザーバーで国土交通省玉川ダム管理所、アドバイザーで大阪市立大学大学院の原口強准教授にも参加をいただきました。今後は鳴砂の復活に向けて、中長期的な視点を持って田沢湖の環境整備に関する協議を進めていくことにしています。

また、6月28日と7月6日には、白浜の清掃活動を実施し、市民の皆様など約110人にご参加をいただきました。7月6日は、本田技研工業株式会社にもご協力をいただき、田沢湖では初めてとなる「Hondaビーチクリーン活動」が実施され、清掃活動の広がりを感じることができました。

田沢湖クニマス未来館(仮称)については、現在、実施設計の取り

まとめ作業を行っています。議会や関係者の皆様からのご意見等を伺いながら、大勢の方々にご利用いただける施設としての整備を進めていきます。

田沢湖湖底調査事業は、いよいよ本格的な現地調査が始まります。既に7月には大阪市立大学が湖底の地形・地質の調査を実施していて、今月から高知大学・秋田大学が本格的な調査に入ります。また国立研究開発法人海上技術安全研究所のご協力で、水中テレビロボットを活用した最深部の映像収録も行われる予定です。

なお、9月28日には、湖底調査に参加をいただく研究者相互の情報共有と、調査の安全祈願を目的とした田沢湖湖底調査共同会見並びに議会、関係者との懇談会を開催したいと考え調整作業を進めています。

#### **◇国勢調査の実施について**

日本国内に住んでいる全ての人と世帯を対象に、5年ごとに行われる国勢調査が本年10月1日現在で実施されます。

今回はインターネットによる回答方式が初めて導入されることになり、今月上旬から調査員の方々が市内各世帯を訪問する予定です。調査を正確かつ円滑に実施することができるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

#### **◇マイナンバー制度について**

平成25年5月に公布された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が、本年10月5日に施行され、マイナンバー（社会保障・税番号）制度がスタートします。

これにより、住民票を有する方には、10月以降12桁のマイナンバー（個人番号）が通知され、来年1月からは税の手続きや社会保障の手続きなどでマイナンバーの利用が開始され、申請者への個人番号カード交付も始まります。

この運用開始に伴い、関連条例を整備する必要があることから、

本定例会に「仙北市個人情報保護条例の一部を改正する条例」及び「仙北市手数料条例の一部を改正する条例」の議案を提出しています。また、本市における特定個人情報の独自利用等に関して定める条例については、現在の国の法令改正の動き等を見定めつつ、次の定例会に提案することとしています。ご審議をよろしく願います。

#### ◇定住対策推進室関係事業の進捗について

仙北市空き家情報バンクの利用状況について報告します。

現在の登録軒数は17軒で、6月の報告以降、田沢に2人の方が移住し、10月からは武蔵野へ2人の方が移住予定となっています。そのほか、交渉中の案件が2件あります。

空き家バンクへの新規登録や物件の内覧も一定件数で続いていることから、一人でも多くの移住を実現するため、さらに空き家の掘り起しや制度のPRに努めます。

#### ◇地方創生先行型交付金事業の進捗について

「地方版人口ビジョン・総合戦略」の策定については、6月1日に契約を締結して作業を進めています。人口ビジョンについては、市内高校生へのアンケート調査の集計も終了し素案の作成に入りました。また、総合戦略の検討委員会についても産・官・学・金・労・言の各団体から推薦をいただき、間もなく第1回目の会議を開催する予定となっています。

6月から募集を開始した「農林業で田舎暮らし体験事業」は、神奈川県男性1人が、空き家を使用して8月19日から6日間滞在しました。ねぎの収穫作業や樺細工制作体験など、計画した体験を無事に終了しています。仙北市での就農の意志があることから、ぜひ移住に結び付けたいと考えています。

そのほか、定住対策新婚世帯家賃助成事業については、申請が現在11件と順調に利用件数を伸ばしています。

### ◇地域おこし協力隊について

第1次募集で2人の応募があり、審査の結果、福島市から女性1人の採用が決まりました。任期は最長3年で、9月1日から田沢出張所を活動拠点に地域おこし活動を開始しています。また、採用予定が2人のため2次募集を行っていましたが、新たに2人の応募があったことから、現在採用に向けた審査の準備をしています。

### ◇災害協定の締結について

7月3日、仙北市とみちのくコカ・コーラボトリング(株)で、「災害時における飲料の確保に関する協定」を締結しました。この協定により、みちのくコカ・コーラボトリング(株)から災害時には飲料水の提供など、支援をいただけることになりました。

なお、8月9日に開催した秋田県総合防災訓練でも、みちのくコカ・コーラボトリング(株)から飲料水を提供いただいています。

### ◇仙北市消防訓練大会及び秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会の結果について

7月5日、仙北市消防訓練大会を落合運動公園駐車場で開催し、消防技術の速さと正確さを競い合いました。

また、仙北市消防訓練大会において、地方創生特区の視察で来市されていた石破茂地方創生担当大臣から、消防団員及び消防関係者に向けた激励のあいさつをいただきました。

大会では、小型ポンプ操法で、第10分団1班が優勝、第9分団1班が準優勝、第8分団2班が第3位となりました。また、規律訓練では、第9分団が優勝、第8分団が準優勝、第7分団が第3位となりました。その後、7月18日に開催された秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会では、小型ポンプ操法で第10分団が第3位に、規律訓練では第3分団が第3位に、他の隊も入賞こそは逃したものの、上位に食い込む健闘を見せてくれました。

### ◇交通安全功労者表彰について

7月10日、秋田県交通安全母の会連合会結成40周年記念式典で、旧田沢湖町交通安全母の会生保内支部の会長を歴任された藤岡トミ子さん（現在は市副会長）が、40年間の功績が認められ、交通安全功労者表彰を受賞されています。

藤岡さんは、長年の街頭指導の中、「小学校6年生の子供達から感謝の手紙と贈り物をいただいたのが一番の思い出」と話していました。

地域の多くの皆様が、こうした活動に貢献して頂いていることに深く感謝を申し上げます。

### ◇山岳救急支援について

7月12日13時20分、秋田市在住の男性（74歳）が、秋田駒ヶ岳登山中、落石が下腹部を直撃し自力下山が困難となり、防災ヘリで秋田赤十字病院に搬送される事案が発生しました。現場は馬の背分岐点から通称ムーミン谷へ約30m下った地点です。今後も秋の登山で多くの皆様が駒ヶ岳を訪れます。可能な限りの安全対策を講じます。

### ◇火災報告について

7月21日11時20分頃、田沢湖玉川地内においてバイク（運転者は秋田市男性60歳）と乗用車（運転者は宮城県男性54歳）の衝突事故があり、乗用車が焼失する車両火災事故が発生しました。

原因は、乗用車とバイク衝突の衝撃によりバイクから流出した燃料に引火し、停車した乗用車に燃え広がったものと思われます。

また、8月5日3時頃、西木町上桧木内字比内沢地内で高圧線被覆カバー、市のIRU回線ボックスを焼損する、その他火災が発生しています。

## ◇水害報告について

7月25日12時、角館地区・神代地区で大雨による河川増水が発生し、12時40分、仙北市災害警戒部を設置しました。仙北市消防団第4分団、第7分団から第10分団の各団員及び消防署職員が、水害対応のためポンプ車による排水処理や土のうによる堤防のかさ上げなどを行っています。

また、西長野地区では、河川の増水により自主避難の女性1人が、さわやか桜館のご厚意により翌朝まで宿泊させていただきました。

この水害により人的被害はありませんでしたが、住家床下浸水9棟、非住家13棟、及び一部の方々の宅内ポンプ冠水などの被害が発生しています。

## ◇交通事故報告について

8月8日11時15分頃、玉川渋黒沢の国道341号線で、バイク（運転者は宮城県男性42歳）が、大型ダンプに衝突し、バイクを運転する男性が死亡する事故が発生しました。

男性は、ツーリングで鹿角市方向から仙北市方向に走行中、下りの左カーブで対向車線にはみ出し転倒し、対向車線を走ってきたダンプの右側面に衝突したものです。

## ◇仙北市防犯協会設立10周年記念式典について

7月26日、仙北市防犯協会主催の協会設立10周年記念式典が角館樺細工伝承館で行われ、同協会会員や協力団体、約130人が参加しました。

式典では、市内の中学1年生による意見発表や、角館高校の青柳校長による「高校生の底力」と題した記念講演を行い、同校飾山囃子部が記念芸能披露も行いました。

## 【市民福祉部】

### ◇生活保護引下げ処分取消請求訴訟について

平成27年5月22日、仙北市民1人を含む原告48人により、仙北市・秋田市・湯沢市・能代市、及び秋田県を被告として、生活保護引下げ処分取消請求訴訟が秋田地方裁判所に提起されました。

内容は、福祉事務所が行った平成25年度及び平成26年度の生活保護費の減額変更処分の取消しを求めるものですが、実質的には厚生労働大臣が定めた生活保護基準の引下げの違憲性・違法性を争うものです。

この訴訟については、「国の利害に係る訴訟についての法務大臣の権限等に関する法律」に基づき、法務局検事及び関係職員が実務を担当します。

#### **◇市立保育園・幼稚園・認定こども園の法人化について**

市立保育園・幼稚園・認定こども園の法人化の準備状況ですが、8月28日に第5回社会福祉法人設立準備委員会を開催し、各種規程等について協議・承認をいただき、これまで全部で27種の規程等が決定し、社会福祉法人設立に向けた準備が整いつつあります。9月18日には最終の準備委員会を開催し、法人認可申請の最終確認を行い、同日に市に対し認可申請が行われる予定です。その後に市の認可を受け、10月1日付で法人登記を申請すべく準備を進めます。

法人設立後は、田沢湖庁舎第2庁舎を借用して法人事務所を開設し、11月中旬の保育教諭等採用試験に向けた準備を中心に法人業務がスタートする予定です。

#### **◇高齢者世帯等除雪支援事業について**

今年度2年目となる高齢者世帯等除雪支援事業は、支援内容を検証し、より支援を受けやすい制度になるよう検討しました。

改善点は、申請時の提出書類の簡素化、対象者の拡大とともに特別な支援を必要とする場合を考慮しながら、住宅から公道までの作業の拡大や、除雪作業事業者を個人登録でも可能とすること、雪下

ろし券は6地区割で100センチ以上となり今後も増加が見込まれる場合にも発行など、改善を図ることにしました。

今後も、安心して冬を過ごすことができるよう見直しに努めながら、事業が使い勝手の良いものになるよう、充実を図っていきます。

### ◇ねんりんピックについて

平成29年9月9日から12日にかけて、第30回全国健康福祉祭（ねんりんピック）が秋田県で開催されます。これは、60歳以上の高齢者の方々を中心に、あらゆる世代の人たちの健康と福祉の総合的な推進を目指す祭典で、全国から約1万人の選手と役員、観客を含めると約40万人の参加が期待されています。仙北市では、ふれあいスポーツ交流大会として、9月10日角館地区を会場にウォークラリーが予定され、多彩なイベントも含め様々な催しを開催したいと考えています。

今後、市の実行委員会設立等の準備作業を行い企画運営にあたります。

### ◇介護保険制度による新事業の実施について

市では、少子高齢化への対応の一つとして、地域包括ケアシステムを作り上げるための準備を進めています。その前段として、大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事務所からの受託事業で、在宅医療・介護連携推進事業と生活支援体制整備事業の2つの事業を10月から実施します。

在宅医療・介護連携推進事業は、医療及び介護を切れ目なく提供することを目的とし、市民・医師・歯科医師・介護の専門家等で準備委員会を立ち上げます。

また、生活支援体制整備事業については、県のモデル事業として県から推進事業を委託されている秋田県長寿社会振興財団（LL財団）と連携を図り、協議体の設置及び地域支え合い推進員を配置し、高齢者が自宅で生活を継続するために必要な支援体制作りを進めま

す。

その他、仙北地域振興局のモデル事業で、認知症の人やその家族、地域住民の集いの場としての認知症カフェの普及を推進します。

## 【観光商工部】

### ◇ころもあつたか温泉入浴促進事業経過報告について

仙北市広報 7 月 1 日号で配布した無料温泉入浴券は、7 月末時点での利用者数は約 2, 200 人、率にして約 10% の利用状況となっています。猛暑続きの影響もあり、やや低調なスタートとなりましたが、利用期間は 12 月末となっていますので、引き続き地域内での消費行動にご協力をいただき、特区構想の推進力となる温泉の素晴らしさを再確認していただく機会にもなって欲しいと考えています。

### ◇仙北市観光大使対談について

8 月 3 日、KADOKAWA 本社で仙北市観光大使の皆様にお集まりをいただき、田沢湖・角館観光連盟で発行予定の「合併 10 周年記念観光情報誌仙北市 Walker」誌面企画対談を行いました。

対談は、観光大使の皆様のお力をお借りし、仙北市を全国に発信しながら、市民の皆様にも観光の協力者、実践者となってもらうきっかけとしたいという思いから開催しました。

観光大使の皆様からは、合併後 10 年を振り返りながら、音楽など文化芸術の振興策、スポーツ交流の活性化、食の継承と掘り起こし、仙北言葉の伝承など、仙北市が誇る魅力や未来像について、様々なご意見をいただくことができました。

### ◇農村で楽しむ仙北は♥あーと展について

8 月 1 日から 2 日にかけて、仙北市農山村体験推進協議会主催事業、「農村で楽しむ仙北は♥あーと展」（会場は農家民宿 7 軒）が開催されました。市も本事業に協賛し、市内 31 軒の農家民宿を広く

知っていただくため、PR活動に取り組みました。2日間で約500人が訪れ、夏の農山村地域の周遊を楽しみました。

この取り組みは、農家民宿の開業を検討している方々への情報提供にもなることから、今後もサポートを継続したいと思います。

### ◇秋田発・子どもふるさと交流推進事業について

8月10日から12日までの3日間、仙北市農山村体験推進協議会の呼びかけで、宮城県女川町立女川小学校の児童15人が仙北市に滞在し、農作業体験や郷土料理作り体験などを行いました。この事業は、震災時仙北市に長期滞在したことをご縁に、県の委託事業に採択されて毎年実施しているものです。

滞在期間中は、カヌーやピザ焼き体験などで市内の小学生とも交流しました。今後は、農山漁村をステージとした地域や学校単位の双方向交流へと発展していくことを期待しています。

### ◇台湾からの教育旅行誘致について

6月23日から25日の3日間、台湾で開催された台湾教育旅行誘致説明会に農山村体験デザイン室の職員を派遣し、冬季及び来年度の誘致活動を行いました。

今年度は、1校100人の訪問が決定した他、もう1校が冬季の訪問を検討しています。来市の具体的な相談も継続的に寄せられている状況で、今年度は台湾の修学旅行受入れは、過去最大の人数になると見込んでいます。

また、11月には台湾の教職員を対象とした市内モニターツアーも予定しています。

### ◇タイからの誘客について

タイのSMIトラベルが企画した視察ツアーが仙北市で行われ、5月31日から6月2日の日程で関係者が農家民宿などに滞在しました。このツアーの成果で、タイから100人を超える方々が、一

般旅行や教育旅行で仙北市を訪問いただくことが決定しています。

同社は今後もタイに限らず、東南アジア全域に開く支店網を活用しての送客も検討中です。市では観光施設や農家民宿等と協力しながら、積極的に受け入れを行いたいと考えています。

### ◇(株)司食品工業秋田工場の企業誘致進捗状況について

7月22日、田沢湖黒沢地区企業誘致敷地造成工事の完成検査が終了しています。これを受け、8月4日には滝本社長が県庁を訪問し、関係者と意見交換を行っています。滝本社長から、やっとスタート地点についたとのお話があり、この後、取り組まなければいけないと考える課題についても、数点のご指摘をいただきました。

現在、市では土地の取扱いについて、当初5年間は貸付、後に譲渡を提案し協議を行っています。今後も、秋田県をはじめ関係機関と連携し、早期誘致に向け最大の努力を傾注します。

## 【農林部】

### ◇水稻の生育状況について

2015年産の秋田県の水稲生育状況は、春以降好天に恵まれ順調に生育し、水不足も懸念されたものの出穂・登熟も順調に推移しています。

8月15日現在の作柄概況は、県南地区は全もみ数（穂数×1穂あたりもみ数）が、平年に比べて「やや多い」、登熟が「平年並み」と見込まれることから、「やや良」となりました。

また、病害虫の発生は、斑点米カメムシ類のすくいとり巡回調査では、過去10年間で昨年続く多さとなり、8月7日に注意報が発表されています。

今後、斑点米カメムシ類の被害や、出穂期前から高温の気象が続いていることから、くさび米・乳白粒・心白粒などの被害が心配されます。適正な防除等ほ場管理に努め、JA等の関係機関と連携を保ち適期刈取の啓発活動に努めます。

### ◇経営所得安定対策制度申込み状況について

飼料用米への作付誘導がなされたことに伴い、7月31日現在の申請件数は、ゲタ、ナラシ対策等の見直しに伴う加入要件が変更されたことと併せ、昨年より146件少ない1,551件（個人1,526件、法人10件、集落営農組織15件）となっています。

今後は、申請された営農計画書の内容を確認の上、該当する生産者の皆様には、年内に交付金が納付される予定ですが、所管する東北農政局大仙地域センターは、10月1日付で秋田地域センターに統合されるとのことで、こちらから通知がある見込みです。

### ◇仙北市産業祭について

11回目を迎える今年の産業祭は、市制10周年記念事業と併せて、10月24日～25日の両日、神代市民体育館を主会場に開催することで準備を進めています。皆様からのご参加・ご協力を重ねてお願いします。

### ◇秋田県畜産共進会について

8月29日、由利本荘市のあきた総合家畜市場で開催された県畜産共進会に、本市から黒毛和種の部へ3頭が出陳しました。

その結果、第1部2類（若雌区）で千葉公夫さん（角館町白岩）の「はなこ号」が優等賞を、第1部4類（義平福娘牛区）では同じく下田忠浩さん（角館町白岩）の「はくごう302号」が優等賞2席を、第1部5類（成雌牛群・経産牛4頭1セット）に大仙市の3頭と出陳した相馬勲さん（角館町白岩）の「におう272号」が、他の3頭と共に優等賞並びに農林水産省生産局長賞を、それぞれ獲得しました。

黒毛和種の部では、大仙・美郷・仙北から出陳された牛が、全6類のうち4類で優等賞を獲得し、当地域の和牛改良が他地域より進んでいることを強く印象付ける結果となりました。

## ◇豪雨による農林部関係の被害状況について

8月21日現在の状況を報告します。7月25日に発生した豪雨は、角館地区で時間最大雨量44mmを記録しています。

農業関係では、農地への冠水・浸水が約32ヘクタール確認されていますが、被災時間が短く作物への影響は少ないと思われま

す。農地・農業用施設は、沢沿いの農地での土砂堆積や畦畔崩落等が約60ヶ所、水路・農道・頭首工等施設関係で約70ヶ所が被災し、全体の被害額を約3,200万円と見込んでいます。

今後は、関係農家と調整を図りながら、早期復旧に向けて対応してまいります。

林業施設関係は、林道被害8路線（路盤洗掘が7路線で総延長約480メートル、法面崩落1ヶ所20m）被害額約120万円（昨年は4件で50万円）と見込んでいます。

これらの関係経費を補正予算に計上しましたので、ご審議をよろしくお願

## ◇施設設備の改修状況について

先ず集会施設についてです。中川・雲沢集落センターの上水道への切り替え工事は既に完了し、供給を開始しています。

就業改善センターの改修工事は外壁の補修をメインに作業中です。玄関口改修の必要があることから、仮設口からの入館と利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解をいただきたいと考えています。工期は9月いっぱいとなっています。

バイオマス施設解体工事は、発電施設等の建屋及び設備の解体は終了し、こちら

も9月中には終了予定となっています。花葉館の宿泊棟浄化槽施設整備の改修工事は、開業以来初めての改修で、仮設浄化槽を備えながらの工事中で、宿泊者の皆様にご迷惑とならないよう配慮し、10月上旬の完了を目指し作業中

## 【建設部】

### ◇豪雨による土木関係の被害状況について

7月25日の豪雨による被害状況について、市道関係では路肩崩落・舗装洗掘等が10ヶ所、河川関係は護岸洗掘等が13ヶ所で、被害額は1,178万円と見積もっています。

これらの被災箇所は、応急対応を進めながらも早期に復旧工事に取りかかりたいため、本定例会に補正予算を計上しています。ご審議をよろしくお願いします。

### ◇田沢湖浄化センターの再構築工事の完成について

平成24年度から3ヶ年計画で進めてきた田沢湖浄化センター再構築事業は、昨年早期の降雪だったり、また稼働しながらの改修であったため、工事を平成27年度へ繰り越しましたが、汚泥管理棟の新築、機能低下した設備の更新、施設の耐震補強工事等、予定した工事を実施し、平成27年7月末で完成・稼働しています。

また、国から求められた仙北市生活排水処理整備構想（新構想）の策定について、人口減少に伴う下水道区域の見直し、整備手法の転換等の検討が必要なことから、下水道区域の未認可区域の方々にアンケート調査を実施したいと考えています。

## 【医療局】

### ◇市立角館総合病院改築事業について

市立角館総合病院改築事業の工事進捗状況は、本体工事については、地下ピット部分が完成し、現在は基礎・梁工事を進めています。8月末の進捗率は10パーセントです。外構工事の進捗率は50パーセントです。

エネルギー棟については、地元企業2社が下請けし、10月から着手予定です。

また、病院事業決算については、6月定例会の市政報告で概要を報告しています。ご審議をよろしくお願いします。

## 【企業局】

### ◇カラ吹き源泉事故調査委員会について

カラ吹き源泉事故調査委員会の２回目の会議が７月１３日に、３回目の会議が８月２７日に開催されました。

委員会では、カラ吹き源泉の集湯槽及び造成塔の改修工事概要、また改修後の硫化水素濃度の調査結果、事故現場の引湯管改修工事を８月３１日に実施することなどを報告しました。

委員からは、今後も継続して濃度調査を行う必要があること、温泉を供給している各施設でも安全確認のため定期的な濃度調査を求める意見などが出されました。

事故現場の引湯管の改修は既に終わりました。また各施設に対し、浴室等の濃度調査を定期的に行うように文書でお願いしました。さらに源泉から分湯槽までの濃度調査は、引き続き行うことにしました。これら改善策の効果については、次回の事故調査委員会で報告することになります。

なお、当初は８月いっぱい調査を終え、報告書をいただけるものと考えていましたが、全国各地で頻発する火山事案の関係で、専門委員の皆様の日程調整が困難な状況が続いています。改善策の見極めもしっかり行いたい思いもあり、次回の会議は１０月上旬となる見込みです。今しばらく時間が必要になっている現状を、どうかご理解いただきたいと思えます。

なお、新水沢源泉から高原地区への引湯事業については、源泉を所有している塚本総業株式会社の持ち分については、既に新源泉から水沢地区分湯槽までの引湯工事に取りかかっています。市では、水沢地区の新分湯槽から高原地区までの引湯工事の実施設計に入っていますが、この作業をできるだけ早めて、本年度中の工事発注を目指します。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げましたが、本定例会

に提案している案件は、報告関係 2 件、条例関係 5 件、予算関係 4 件、決算認定関係 1 5 件、その他 1 件の計 2 7 件です。

どうか慎重審議の上、全議案についてご可決賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。